地元の安全・安心な農畜産物を『選ぶ』という地域おこ



地産地消:地域で生産されたものを、 その地域で消費すること

食の安全意識が高まってい

化の見直しなどにつながって ともに考え直し、地域の食文 に地元の食べものに目を向け る今だからこそ、今まで以上 いきます。 べ方の本来のあり方を双方が る関係」が作られ、食べ物と食

安全です 現在販売されている飛驒牛は てみましょう。

地産地消のメリットは

新鮮な食品が手に入りま

ありません (県のホームペー 規制値を超えたものは一頭も る牛肉については岐阜県のホ 牛の中で、すでに流通してい 汚染された疑いのある稲わら ジで公表中)。 果で、放射性物質が国の暫定 在検査が進められています。 が公表され、流通を止めて現 ームページで「個体識別番号」 を餌として与えられた一部の なお8月9日時点の検査結 7月末に放射性セシウムに

された疑いのある稲わらが餌 番号以外の飛驒牛には、汚染 また、公表された個体識別

組みを通じて、消費者と生産

地産地消のさまざまな取り

がっています。

ことが流通の活発化につな の物を多く消費してもらう 民だけでなく、観光客に地 観光都市でもあるため、市 は、多くの観光客が訪れる 特に農業が盛んな高山市で 地域振興につながります。 地域内の流通が活発化して の負荷が軽減できます。 炭素の排出が減り、環境へ 輸送にかかる燃料や二酸化

> として与えられていませんの 全国ブランドのひとつです 飛驒牛は高山が誇る大切な で安心してご購入ください。

者の間に「顔が見え、話ができ

を受け、飛驒牛の消費が大き 食品汚染への不安などの影響 は安全なものですが、全国的 く落ち込んでいます。 に広がっている放射性物質の 現在販売されている飛驒牛

元ブランドを支えていきまし 丸となり、飛驒牛を消費し地 まずは地域のみなさんが



飛驒をまるごと食べんかな 8月は「飛驒高山やさいの日

豊かな自然に囲まれたこの地 澄んだ空気やきれいな水

> ています。 域では、その恵みを活かし農 畜産物の生産が盛んに行われ

> > ューの提供や、飛驒産野菜の

は、飛驒の食材を使ったメニ

牛など地元の農畜産物の地産 飛驒の野菜でごちそうプロジ 地消を推進しています。 をPR月間とし、野菜や飛驒 の「やさいの日」にかけて8月 クトチームでは、8月31日 高山市地産地消推進会議と

現在、市内の飲食店などで

わってください。 度が高まっています。この機 会に飛驒のおいしい食材を味 われ、「地元産食材」への注目 特設コーナーの設置などが行 農務課

35 3 1

畜産課 42 4

って、処理能力の範囲内で受け入れることが可能」と回 答しています。 市としては、放射能汚染を全国に拡散させるべきでは ないとの観点から、被災地のがれきに放射能汚染は全く ないとの確証を得られていない現状では、被災地のがれ

東日本大震災の被災地で生じているがれきは、現在も

本年4月に環境省が全国の自治体に対して行った「被 災地のがれき受入れの可否に関する調査」では、高山市 は被災地支援の立場から「放射能汚染のない廃棄物に限

被災地のがれき処分の

受入れについて

被災地で処分が続けられています。

きを受け入れることは考えていません。 また、現在までに、被災地からがれき処理の要請はな

く、受け入れた事実もありません。 被災地への支援については、今後も引き続き取り組ん でまいります。

問合先 生活環境課 **~**35-3138